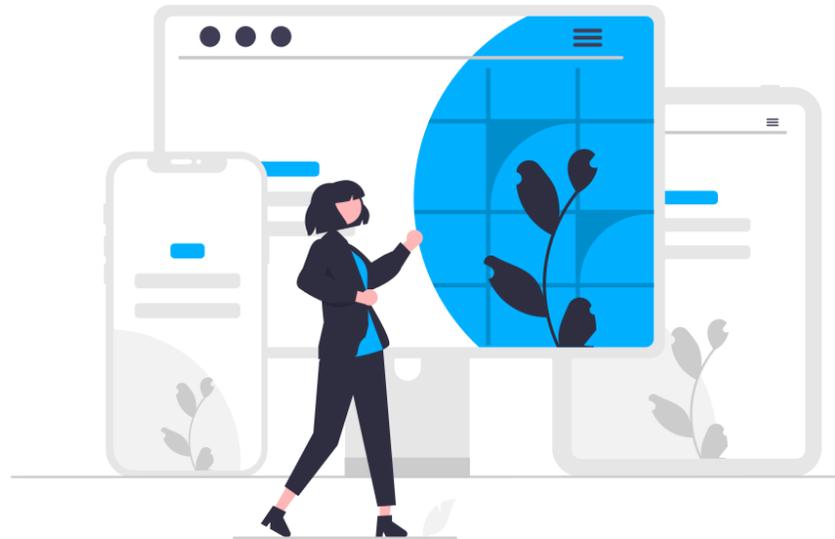


ICTツールの導入をお考えの方必見！

これで失敗しない！

ICTツールを介護事業所で活用するポイント



突然ですが…

このようなお悩みはありませんか？

- ✔ ICTツールを導入したものの、使いこなせず無駄になってしまった
- ✔ 経営陣がICT化を進めているが、現場に定着しない
- ✔ 競合の事業所がICTツールを活用しており、焦っている。

今回は、500事業所以上に対し歩行分析AIを提供してきた経験から、ICTツールを介護事業所で活用するポイントをご紹介します。

ICTツールの活用に失敗する理由

ICTツールの活用に失敗する理由

× ツールを導入する目的が曖昧

近年、介護業界でもさまざまなICTツールが普及しています。

しかし、トレンドに影響された結果、導入すること自体が目的化してしまうケースも多く見受けられます。

× 操作に手間のかかるツールを使用している

操作方法のわかりにくいツールや、多くの手順を踏んで使用するツールは、現場の職員が使いこなせず活用されないケースが多いです。

ICTツールの活用に失敗する理由

× ツールの導入によって業務が増えている

活用する場面をイメージし切れないうままツールを導入した結果、本来であれば必要のなかった業務が増えてしまい、かえって業務負担が大きくなるケースもあります。

× 現場にツールの活用を推進する主体がない

特に経営陣が主導してツールを導入した場合に起こりがちな失敗です。

現場が導入する目的や活用方法への理解が浅いままでは、なかなかICTツールが活用されません。

ICTツールを介護事業所で活用するポイント

ICTツールを介護事業所で活用するポイント

- ✔ ツールを導入することで解決したい課題を明確にする
- ✔ 誰でも使いやすいツールを選ぶ
- ✔ 日常の業務フローへの組み込み方を決める
- ✔ ツール活用の推進担当者を決める

ICTツールを介護事業所で活用するポイント

✓ ツールを導入することで解決したい課題を明確にする

まずは、現在どのようなことに困っているのか、問題を整理しましょう。

そして、その問題の原因まで明らかにすることで、ツールに必要な要件が定まります。

デイサービスの売上が低下している

体験からの成約率が低い

体験に来た方に、現状の身体機能をわかりやすく伝えられない

視覚的に、わかりやすく身体機能をフィードバックできるツールを導入

例

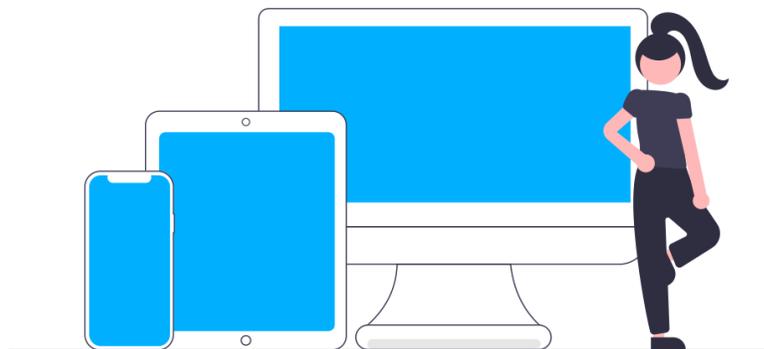
ICTツールを介護事業所で活用するポイント

✓ 誰でも使いやすいツールを選ぶ

職員によってICTへの慣れには差があります。

使用するために知識や手間を要するツールの場合、**そもそも浸透しないケースや、ツールに詳しい職員に質問が殺到し通常業務を圧迫するケース**が想定されます。

わかりやすくシンプルなツールであれば、ICTに詳しくない方でも抵抗感なく使用してもらえるため、無駄な投資になる可能性は小さいでしょう。



ICTツールを介護事業所で活用するポイント

✓ 日常の業務フローへの組み込み方を決める

ICTツール導入の目的として、業務効率化が挙げられます。

ツールを導入することがかえって負担にならないよう、予め「どの業務を代替するのか」「いつ・どのような場面で使用するのか」を決めた上で導入しましょう。

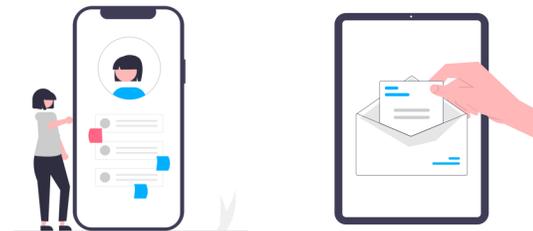
トルト の場合

導入前



10分ほどかけて歩行状態を紙で記録し、
FAXでケアマネに送信

導入後

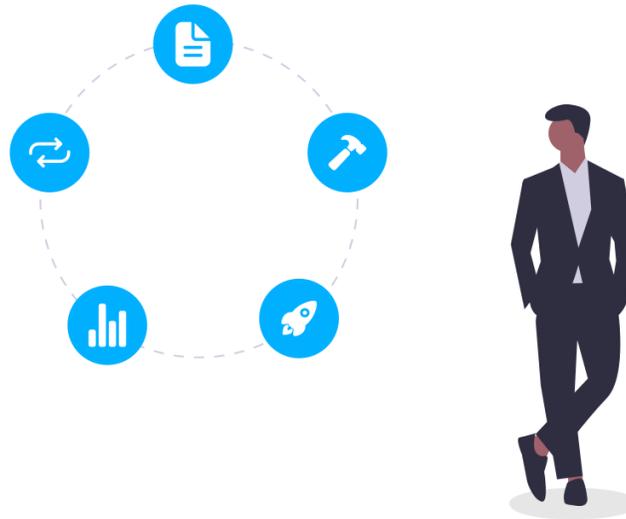


歩行状態を動画で撮影し、AIが自動でレポートを作成
数分で歩行評価が完了し、そのままメールでケアマネに送信

ICTツールを介護事業所で活用するポイント

✓ ツール活用の推進担当者を決める

現場にツール活用の推進担当者がいることで、業務フローへの定着における課題解決や新たな活用方法の創出が期待できます。ツールを選定する際は、経営陣だけでなく推進担当者も交えながら現場の課題に適しているか判断することが望ましいです。



まとめ

まとめ

ICTツールを活用する
ポイント

- ✓ ツールを導入することで解決したい課題を明確にする
- ✓ 誰でも使いやすいツールを選ぶ
- ✓ 日常の業務フローへの組み込み方を決める
- ✓ ツール活用の推進担当者を決める

ICTツールを導入するだけでは何も変わりません。

あくまでも手段なので、**ICTツールを使って何を実現したいか**が重要です。



歩行分析AI「トルト」のご紹介



動画を「撮る」だけで伝わる、
「提案」の質が変わる。

歩行分析

情報共有

- ・誰でも簡単スマホ1つで測定が可能
- ・歩容や転倒リスクの評価を数値化
- ・誰もがわかるシンプルなレポートにより
意識変容や行動変容が促される

- ・歩行動画とレポートは、ケアマネや
利用者様、家族へ簡単に共有可能

